



# 拓殖大学 vs 日本大学

5月2日(金)  
11:30K.O.  
横須賀

3連敗のあと昇り調子の拓大と、開幕戦以来白星のない日大との対戦。ここ2試合で得点が取れるようになってきた拓大に対し、失点は少ないが得点も少ない日大がどう戦うか。

拓大は前節、青学大と点の取り合いの末、3-3で引き分けた。開幕から3試合無得点で苦しんでいたが、ここ2試合で5得点と得点感覚を取り戻してきたようだ。さらに、先制されると反撃の糸口が見出せなかったが、前節は2点のビハインドを追い付き、さらに突き放されても再度追い付いたことから、大きな意味を持つ勝点1と言えそうだ。玉井朗監督も「2点を追い付き、引き分け以上の手応えを感じた。技術的、精神的な自信を得た試合になったと思う」と喜んだ。しかし、17分までに2失点した序盤の戦い方では、前の試合の勝利による油断があったとも指摘した。良い流れを自分たちの実力にするためにも、下位同士の対戦でしっかり勝利したい。一方の日大は、接戦を勝ち切れない苦しい試合が続いている。初戦こそ終盤の粘りで白星スタートを切ったが、2試合引き分けの後、前節は0-1で敗れた。ここ2試合は無得点に終わっている。前節の相手は首位の神大で、圧倒的な得点力を誇ってきた相手をCKからの1

失点に抑えたことは、「これだけ苦しめることができ自信にもなったと思う」(川津博一監督)という一面もある。しかし、やはり課題は、守備の局面からいかに攻撃につなげるかだ。「色々な意味で力の差も感じた。自分たちのすべてを出して勝点3を求めているかなければいけない」(川津監督)。勝点1ではなく、リスクを冒してでも勝点3を取りにいく戦いができるか。  
<出場停止>穂積諒(拓大)/3回警告:谷川貴也(拓大)  
<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

拓大		日大	
34. 緋田	16. 大森	25. 大谷	11. 齋藤
13. 三浦	31. 宗像	44. 田代	7. 廣田
21. 佐川	11. 西岡	13. 中野	1. 谷
	18. 沼倉	8. 床井	
	27. 森川	15. 山口	
6. 紙谷	24. 多田	4. 高橋	
2. 谷川		6. 中村	2. 長谷川

# 法政大学 vs 産業能率大学

5月3日(土・祝)  
11:30K.O.  
BMWス

無敗で3位につける法大と、未勝利で11位の産能大との対戦。初勝利が欲しい産能大だが、失点数はリーグワースト。一方、今季の法大は失点数がリーグ最少だ。無敗記録を伸ばし、上位2チームについていくことができるか。

その法大は前節、日体大と対戦してスコアレスドローに終わっている。今季、無得点の試合は初めてだ。勝利から遠ざかっている日体大が、しっかりと守備のブロックを組んで対応してきたこともあり、シュート数も少なく最終的にゴールを割ることができなかった。「前線の動きもそうだが、後ろの選手のボールの持ち方やパスの出し方も改善する必要がある」(長山一也監督)。一方、「守備では最後まで身体を張っていた」(長山監督)と評価したように、こぼれ球への反応など、集中力を切らさず粘り強い守備ができたことは今季の成長とも言える。今季は攻守とも安定感があるが、下位チームの思い切りの良さには注意したい。

その産能大は、第4節で初勝点をマークしたが、前節では東農大に5点を奪われ敗れた。ミドルウィークに神奈川県天皇杯予選を戦った疲れもあったのか、加藤望監督は「戦うということや一つひとつのプレーへのこだ

わりが薄かった。情けないゲームだった」と話した。連敗中もアグレッシブな攻撃姿勢を見せ、第4節では3点のビハインドを追い付き粘りを見せたが、東農大戦では相手の出足が早く、失点を重ねて最後まで反撃の糸口がつかめなかった。U-19日本代表候補のFW越智大和(1年)を欠くのは攻撃面で痛い、全員守備全員攻撃で法大に立ち向かいたい。

<出場停止>越智大和(産能大)  
<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

法大		産能大	
2. 永戸	16. 青島	11. 青木	25. 渡辺
22. 田代	25. 西室	9. 相馬	4. 楠元
12. 袴田	26. 伊藤	10. 城本	36. 須永
	3. 宗近	33. 浜下	31. 安田
	8. 三田	7. 小池	6. 遠藤
6. 星	18. 鈴木	17. 岡村	32. 上長

# 東洋大学 vs 関東学院大学

5月2日(金)  
13:50K.O.  
横須賀

前節で2勝目を挙げた東洋大と、無敗で2位につける関学大との対戦。前節はともに3得点で勝利を収めており、楽しみな戦いだ。

開幕からなかなか波に乗り切れなかった東洋大。前節も、最下位の平国大を相手に先制点を許す苦しい戦いとなったが、最後は3-2と勝ち切ったことは今のチーム状況においては非常に大きな収穫だ。特に、2-2に追い付かれた後の相手の猛攻を何とかしのぎ、試合終了直前の90分の得点につなげた粘りは、今後の巻き返しにつながるだろう。それでも、逆転した後はリードを守ろうという心理が働き、相手の反撃に勢いを与えて実際に追い付かれてしまったこと、相手の高いDFラインの裏のスペースを効果的に使えなかったことなど、古川毅監督はいくつもの課題を指摘した。「色々な課題が多く見つけたが、リーグ戦は右肩上がりになっていけるようにしたい」(古川監督)。好調の関学大を抑えられるか。その関学大だが、第4節で3点のリードを追い付かれる“取りこぼし”を演じてしまったものの、前節は東学大に3-0で快勝。「緊張感と、前節の勝点を取り返そうという気持ちが強かった」(石村大監督)というように、序盤から積極的に相手陣内へ攻め込んだ。4試合連

続得点中のMF中村瞬(3年)を体調不良で欠いたが、1列前に上がったDF木村魁人(3年)が持ち前の攻撃力を発揮し、その代わりにSBに入ったDF山口聖矢(3年)が2アシストの活躍と、層が厚くなったことも証明した。守備面でも「危険なところに侵入される回数は少なかったが、次節はもっとボールを持たれると思う」(石村監督)。前節のように攻守のバランスを保てるか。  
<3回警告>田口新太郎・小山大貴(東洋大)  
<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

東洋大		関学大	
24. 池田	7. 齊藤	34. 山口	32. 木村
4. 郡司	10. 平石	9. 富樫	3. 原島
1. 浅沼	15. 小山	7. 太田	1. 井田
	14. 小山	10. 土館	
	5. 田口	33. 萱沼	2. 吉田
	11. 佐々木	8. 普光院	4. 久保
	28. 仙頭		
16. 石坂			

# 青山学院大学 vs 平成国際大学

5月3日(土・祝)  
11:30K.O.  
味スタ西

3試合連続引き分け中の青学大と、5連敗中の平国大との対戦。こここのところ得点、失点とも多い両チームの対戦だけに、点の取り合いとなるか。

青学大は前節、拓大と引き分けた。ここ3試合は、2-2、2-2、そして3-3。終盤で2点を追い付いた試合もあるが、どちらかといえば“逃げ切れなかった”印象のほうが強い。前節も、まず2点リードを追い付かれ、さらに勝ち越したが80分に同点とされた。青学大が目指すサッカーからすれば、点が取れていることは良いことで、前節も「狙いを持った攻撃の形を意図的に作られている」(宮崎純一監督)。一方、ここ数年は攻守のバランスが課題で、攻守どちらかに重点を置けば他方が疎かになるパターンが目につくだけに、今季は青学大らしさを徹底しても良いかもしれない。終盤でのスタミナ不足が懸念されるだけに、ペース配分もポイントだ。

一方の平国大は前節、東洋大に2-3で敗れた。開幕5連敗とはいえ、ここ2試合は2得点ずつ奪っている。退場者が出て逆転を許したり、前節もシーソーゲームから90分に勝ち越しを許すという惜敗であった。しかし、先制点を奪いながら勝点1も得られない状況が続いており、守備面ではなんとか失点を最小限に抑えたいところ

だ。東洋大に対しては、いつも通りアグレッシブな守備でボールを前に運ばせなかったが、CKからの流れで同点を許してから相手のリズムが戻ってしまった。また、2-2の後に何度も勝ち越せるチャンスを生かせなかったのが悔やまれる。「彼らの力はしっかり出していると思う。あとは90分走り続けて、運動量でどう抑えるか」(西川誠太監督)。初勝利、初勝点を狙いたい。  
<昨年の対戦>前期/青学大0-0平国大、後期/青学大4-0平国大

青学大		平国大	
6. 服部	11. 恵	11. 千葉	7. 柏俣
3. 御牧	8. 後藤	26. 小松崎	25. 猪瀬
1. 高橋	27. 角宮	9. 星子	21. 馬屋原
	10. 関谷	10. 堀越	3. 深井
	14. 伊藤	6. 福嶋	
5. 京谷	7. 荒木	29. 木曾	2. 増田
2. 堤			